

## 第10回公共情報コモンズ運営諮問委員会 議事概要

### 日時

平成25年10月25日(金)13:00～13:35

### 場所

一般財団法人マルチメディア振興センター(FMMC) 大会議室

### 出席者(敬称略、順不同)

#### 【委員】

宇田川 真之(人と防災未来センター)、金原 正幸(大石 剛(静岡新聞社)代理出席)、音 好宏(上智大学)、鈴木 英雄(小原委員(兵庫県)代理出席)、兄部 純一(NHK エンタープライズ)、古賀 靖広(KDDI)、古閑 由佳(ヤフー)、下谷 幸信(紺渡委員(メイテツコム)代理出席)、芝勝徳(神戸市外国語大学)、菅原 史剛(日本放送協会)、油井 里美(滝田委員(静岡県)代理出席)、田村 光広(文化放送)、鈴木 宏保(西村委員(さいたま市)代理出席)、福田 宏司(BAN - BANネットワークス)、不破 泰(信州大学)、長井 新(別所委員(三重県)代理出席)、庄野 健(日本電信電話)、鳴尾 健(脇屋 雄介(FM ながおか)代理出席)

#### 【特別顧問】

増田 寛也(野村総合研究所)

#### 【オブザーバー】

総務省、消防庁、気象庁、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟、一般社団法人日本コミュニティ放送協会

#### 【来賓】

吉田 靖(総務省政策統括官(情報通信担当))

#### 【事務局(FMMC)】

辻井 重男、浅見 訓男、吉田 正彦、川喜多 孝之

#### 【欠席】

五十嵐 信裕(名古屋テレビ放送)、秦 康範(山梨大学)、山本 孝(JR東日本企画)、

### 配布資料

- 資料10 - 1 公共情報コモンズ運営諮問委員会構成員一覧
- 資料10 - 2 公共情報コモンズシンポジウムの開催について
- 資料10 - 3 公共情報コモンズ活動状況及び作業部会の検討状況について
- 資料10 - 4 平成25年度公共情報コモンズ合同訓練結果とりまとめ(案)
- 資料10 - 5 公共情報コモンズサービス利用規約等の改正について
- 資料10 - 6 公共情報コモンズ運営諮問委員会(第9回)会合議事概要(案)

資料10 - 7 公共情報コモンズをめぐる最近の動向について - 平成25年度前半の動向を中心に - (ICT World Review August/September 2013 Vol6 No.3 原稿)

議事

1. 開会

2. 開会挨拶

FMMC 辻井理事長より、概要以下の挨拶があった。

出席の皆様には厚く御礼いたします。本日の会合から、前岩手県知事で元総務大臣でもある増田寛也様に特別顧問としてご参加いただいています。増田特別顧問には、これから大変お世話になると思いますが、どうかよろしくお願いいたします。

公共情報コモンズの参加団体数は、引き続き大幅に増加しており、400 を超えました。また、都道府県で見ますと25 ということで、47 の過半数ということになります。こうした状況の中、本日はこの会合の後、「公共情報コモンズ いまとこれから」と題して、当財団の主催としては初めてになります公共情報コモンズのシンポジウムを開催いたします。シンポジウムまで含めると、長丁場になりますが、本日は最後までよろしくお願いいたします。

3. 特別顧問挨拶

増田特別顧問より概要以下のご挨拶があった。

災害時の伝達情報のみならず、さまざまな場面で公共情報をどのように伝達していくかということは大変重要な問題です。ここにお集まりの皆様方で公共情報コモンズという正にそのインフラ作りをしておられるということは、今社会に大変必要な、重要なことではないかと思っています。

その中で私が参加するというのは、恐らく特に自治体への広がりをもっと加速させるという役割ではないかと思っていますので、より多くの自治体に参加して、この仕組みの機能がアップするように努力していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 来賓挨拶

総務省吉田政策統括官(情報通信担当)より概要以下のご挨拶があった。

今日お集まりをいただいている皆様方には、公共情報コモンズのみならず、総務省のICT行政全般ご理解、ご協力をいただいていることに御礼を申し上げます。また、FMMCはじめ皆様方には、公共情報コモンズの普及に尽力されており、この場を借りて敬意を表します。

また、今日はこの後シンポジウムが開催されるということで、公共情報コモンズの更なる発展に向けて、非常に良い機会になるのではないかと大いに期待しています。当省からは藤川総務大臣政務官がご挨拶させていただく予定になっております。政務官は着任早々、まだ導入されていない県の知事に直接導入を働きかけていただくなど、精力的に動かれており、省を挙げて、コモンズの普及に取り組む体制、皆さんをバックアップする体制をとっております。

公共情報コモンズは参加する団体が増えれば増えるほど効用が増していきますので、さらに自治体への普及を進めるとともに、それ以外の鉄道、ライフライン等々への普及に対して、皆様のお知恵を拝借しながら、私どももバックアップさせていただきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。

#### 4. 議事

##### (1) 公共情報コモンズシンポジウムの開催について

資料10 - 2に基づいて、事務局からシンポジウムの進行等について説明があった。藤川総務大臣政務官にご挨拶いただくことになったこと、宮城県石森危機管理監は、台風の接近により、宮城県を離れられないということで急遽欠席となったことなどについて説明があった。

##### (2) 公共情報コモンズ活動状況及び作業部会の検討状況について

資料10 - 3に基づいて、事務局から公共情報コモンズ活動状況及び作業部会の検討状況について説明があった。

###### 【主な説明事項】

- ・ 公共情報コモンズの活動状況報告として、愛媛県が9月1日に運用を開始し、運用中の府県が11となったこと、公共情報コモンズへ加入した都道府県が25となり、半数を超えたこと、協力事業者が10となったこと、東北放送、静岡放送、ヤフー、ケーブルテレビ可児がシステム連携を開始したこと、夜間、土日祝日の公共情報コモンズの稼働状況の問い合わせ対応を開始したこと、「アラートからの国民保護に係る情報配信については平成25年12月中に開始する予定である旨であること、などについて説明があった。
- ・ また、前回の運営諮問委員会(平成6月27日開催)以降の作業部会の活動状況報告として、作業部会の構成員が資料のとおり交代となったこと、新たな利用形態での参加ということで、ゲヒルン株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社の情報伝達者としての参加について審議が行われたこと、ヤフー株式会社のサービスの開始や内閣府防災システムのコモンズとの連携について意見交換を行ったこと、合同訓練の結果のとりまとめやシンポジウムの内容、サービス利用規約の改定についても検討を行ったこと、交通関係情報やライフライン関係の情報等の公共情報コモンズへの発信の促進について議論を行っており、関係団体とも意見交換をしていること、などについて説明があった。

##### (3) 合同訓練(6/12実施)結果のとりまとめ、公表について

資料10 - 4に基づいて、事務局から合同訓練の結果取りまとめについて説明があった。内容及び公共情報コモンズのホームページへの掲載について異議なく了承された。

(4) サービス利用規約等の改正について

資料10 - 5に基づいて、事務局からサービス利用規約等の改正(3点)について説明があった。提起された変更点について異議はなく、サービス利用規約等の改正を11月1日から、実施を12月1日からとすることとなった。

(5) その他

兄部作業部会長より、以下の発言があった。

- ・ 合同訓練あるいは本日のシンポジウムなどもあり、公共情報コモンズの認知度は非常に上がってきたと思う。今までも信頼性の向上や機能向上については対応してきてもらっているが、認知度が上がれば上がるほど、さらにこの点が問われてくるので、作業部会としてもそういうことを少し議論していかなければいけないのではと思う。
- ・ また、自治体の方々の参加は大分進んできたが、ライフライン、鉄道、電気、ガス、通信といったところに関してもやはりいち早くきめ細かい情報を収集し、発信していくということが非常に求められておりますので、この辺についても事務局と一緒に作業部会として整理し、かつ拡大していくような取り組みを進めていきたいと思う。

そのほか、事務局より、資料10 - 6、10 - 7についての説明や、今後の予定についての説明があった。

5. 閉会

以上